

サポートブログ過去掲載記事

[20180220]CPUクーラー取り付けの際は、グリスの塗り過ぎに御用心

CPUクーラー取り付けの際は、グリスの塗り過ぎに御用心



CPUクーラーについているグリスの一例

最近ではCPUにリテールクーラーが付属しないモデルが増えたり、冷却性能や静粛性を重視したりして、サードパーティ製のCPUクーラーを取り付ける事例が増えてきました。

そこで、サポートでもお問い合わせいただくこと多いCPUのグリス（サーマルグリス）の塗り方についてのご案内です。

CPUクーラー取り付けの必需品の**CPUグリス**ですが、CPUに付属しているCPUクーラーにはあらかじめグリスが塗布されているため、CPUに付属のCPUクーラーを使用していると自分で塗り直す機会は少ないものです。

逆に単体販売されているサードパーティ製のクーラーでは、クーラーに付属のグリスを自分で塗るようになっていることが一般的です。CPUに付属のクーラーのグリスを自分で塗り直す場合でも同じことが言えますが、CPUのグリスは**多すぎても少なすぎてもいけません。**

【塗り過ぎの例】

サポートブログ過去掲載記事



グリスを一本使い切る勢いで使用すると、左の画像のような状態になります。ヒートスプレッドからはみ出たグリスがCPUソケット内にまで浸入しかねない危険な状態です。

ソケット内にグリスが浸入すると、動作不良や故障の原因になるほか、メーカー保証が効かなくなる場合もあります。

グリスの用量・塗り方にはいくつか手法があり、ヘラを使って薄く塗る方法が広く知られていますが、グリスの厚みを考慮しないといけないのが難点です。

ツクモのサポートセンターでオススメしている方法は、下の画像のようにCPUの中心に**米粒2~3粒分程度を盛り、ヘラは使わずに直接CPUクーラーを取付けて、ヒートシンクで自然に押し広げる方法**です。



このくらいの用量でも...

サポートブログ過去掲載記事



ご覧の通り不足はありません。

この方法なら適量をCPUの中央に盛るだけで済みますので、**失敗も少なく簡単**でオススメです。
CPUクーラーの取り付けや取り替えの際に、ぜひお試しください。

一意的なソリューション ID: #1271

製作者: k.kogawa

最終更新: 2018-06-08 15:07